

情報公開文書

研究の名称	妊娠中の母親および子どものプロバイオティクス食品(発酵食品)摂取と子どもの健康状態・生育環境・発達の関連性(エコチル調査)
整理番号	R2018032(臨30-32)
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 エコチル調査参加に同意された方とお子さま 100,144 組</p> <p>【研究の目的・意義】 プロバイオティクスは、「腸内細菌叢のバランスを改善することにより人に有益な作用をもたらす生きた微生物」と、微生物学者 Fuller により 1989 年に定義されています。これまで、プロバイオティクス摂取によって、がん、アレルギー、炎症性大腸炎、動脈硬化、うつ、糖尿病の予防に効果があるという報告がある一方、小児期の調査は少ないもしくはあっても非常にサンプルサイズが少ない状況です。</p> <p>本研究では、エコチル調査から得られた約 10 万例の対象を用い、味噌、納豆、ヨーグルト等のプロバイオティクス食品(発酵食品)摂取が、小児期の様々な健康状態と関連するかを検討することを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 出産前からお子さんが 3 歳になるまでにご回答いただいた質問票の回答に基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 研究期間：2018 年 7 月 3 日～2025 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>子どもの健康状態(感染症、湿疹・発疹・かゆみなどの皮膚感染状態、けいれん、中耳炎、インフルエンザ、下痢、嘔吐、発熱、入院、泌尿器・腎臓疾患、胃腸病、肥満(BMI・体格)、代謝機能、血圧)、子どもの生育環境・育児環境(遊び、運動、睡眠環境、睡眠時間、睡眠サイクル、夜泣き、家庭の育児状態、転倒転落、ケガ、離乳食)、乳幼児期(0歳～4歳未満)の発達(乳幼児期の発達チェック項目(ASQ)による発達評価)、子どものプロバイオティクス食品(発酵食品)摂取頻度(具体的には、ヨーグルト、チーズ)、母親のプロバイオティクス食品(発酵食品)摂取量や頻度(具体的には、ヨーグルト、味噌、醤油、みりん、清酒、酢、漬物、かつお節、みそ汁、ぬか漬、納豆、チーズなどの食品の変数情報を検討)、在胎週数、出生体重、出生順位、分娩方法(経膈分娩あるいは帝王切開)、妊娠中の食事内容(発酵食品以外)、妊娠合併症(妊娠高血圧、悪阻など)、保育所への入所時期、世帯年間所得額、教育歴、職種、喫煙情報、など</p> <p>(他機関への提供の：無)</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-434-7277 FAX:076-434-5023 E-MAIL aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 土田 暁子・助教
--------------------------	---